

令和6年第2回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和6年5月30日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【健康福祉の分野における活躍について】

4月3日から5月12日にかけて、第21回長崎県ねんりんピックが開催され、雲仙市から15競技、102名の選手が参加し、小浜町の松尾純伯様が剣道男子60歳以上の部において見事優勝されました。

【産業の分野における活躍について】

3月26日、令和5年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式が行われ、吾妻町の山田原第二土地改良区様が、県営農地整備事業による栽培規模の拡大と効率化に取り組まれ、ブロッコリーを主体とした営農体系を確立するとともに、品質の向上や安定出荷により、収益力の増大を実現されたこと、また、農地中間管理機構を活用し、農地集積率の大幅な上昇を実現されたことが評価され、農林水産大臣賞を受賞されました。

【スポーツの分野における活躍について】

3月30日、31日に開催された「第41回西日本壮年ソフトボール大会長崎県予選」において「オール雲仙クラブ」が見事優勝し、5月11日から宮崎県都城市で開催された「第41回西日本壮年ソフトボール大会」に出場されました。

4月14日、キルギスの首都ビシュケクで開催されたレスリング「アジア選手権大会」女子65キロ級において、国見町出身で長崎県レスリング協会に所属する吉武まひろ様が、見事金メダルを獲得されました。

4月25日から5月1日まで、大韓民国の慶尚北道聞慶市で開催された「日韓生活体育交流ソフトテニス大会」のシニア男子の部において、国見町の吉武俊雄様が見事優勝、吾妻町の落水友重様が3位の成績を収められました。

【ジュニアスポーツの分野における活躍について】

3月23日から25日にかけて、福岡県飯塚市で開催された「第41回九州中学校バレーボール選抜優勝大会」において、南串中、小浜中、瑞穂中で構成する「VC雲仙」が3位の成績を収められました。

4月27日、神奈川県横浜市で開催された「JOCジュニ

アオリンピックカップ大会」U20男子グレコローマンスタイル82キロ級において、国見町出身で関西大学3年の稲本喬弘さんが3位の成績を収められました。

4月28日、諫早市で開催された「第46回長崎県道場少年剣道大会」団体中学生の部において、愛野少年剣道部が見事優勝、団体小学生の部において3位の成績を収められ、7月に日本武道館で開催される「第58回全国道場少年剣道大会」に出場されます。

また、個人戦中学生男子の部において、愛野少年剣道部の荒木瑛さんが見事優勝され、10月に神奈川県横浜市で開催される「全国道場少年剣道選手権大会」に出場されます。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針１「暮らしと安心」の分野について】

移住・定住の情報発信・受入体制の強化につきましては、4月1日、雲仙市地域おこし協力隊として、新居真人さんが着任いたしました。

隊員となられた新居さんには、次世代の種採り農業の担い手として知識の習得に加え、情報発信等に取り組んでいただき、本市の関係人口の増加が図られることを期待しております。

障がい者を支える環境づくりと社会参画の促進につきましては、4月29日、旧木指小学校を利活用した、障害福祉施設として、社会福祉法人八幡会様が運営する障害者支援施設「あけぼの学園」の落成式が開催されました。

地域防災体制の強化につきましては、5月22日、梅雨の集中豪雨などで洪水が発生しやすい時期を前に、がけ崩れが懸念される急傾斜地や、令和3年8月の大雨により土砂崩れが発生した雲仙古湯地区、小地獄地区の恒久対策として長崎県が実施している災害対策関連事業の確認など、市内5箇所について、担当部署や島原振興局から説明を受けながら、点検を実施しました。

今後も災害対応の充実と併せ、防災、減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めてまいります。

【基本方針２「産業と交流」の分野について】

生産性向上とコスト縮減につきましては、３月２５日、株式会社湖池屋のポテトチップスに使用されるばれいしょ「ながさき黄金」の安定供給を目的に株式会社ジェーピーファーム様において建設された、ばれいしょ保管施設及び選果設備の落成式が開催されました。

今後は、市内農業者を中心に組織された「雲仙島原チップ用生産組合」の出荷施設として利用され、ばれいしょの増産体制の確立を目指されます。

雲仙ブランドの構築及び販路拡大・地産地消の推進につきましては、５月２３日、「美食都市アワード２０２４」に雲仙市が選ばれ、関係する生産者や料理人の方々の出席のもと授賞式が開催されました。

今後は、さらに地域の食文化を振興する取り組みを強化してまいります。

魅力的な観光商品の造成につきましては、３月２４日、国

立公園「雲仙」指定90周年記念式典を開催いたしました。

当日は、市議会議員の皆様をはじめ、伊藤環境大臣、長崎県知事、地元選出国會議員、県議会議員等、多くの方々のご臨席のもと、脱炭素化に取り組む国立公園「ゼロカーボンパーク」の登録を宣言するとともに、記念講演会などを開催いたしました。

受け入れ基盤の整備・充実につきましては、4月21日、国見町神代小路地区において、飲料メーカーである株式会社伊藤園様より、風情ある町並みにソメイヨシノを増やしたいとの思いでご寄贈いただいた桜の苗木4本の植樹を行いました。

また、5月11日、国見町田代原地区において、指定90周年を迎えた国立公園「雲仙」に群生するミヤマキリシマの保全と活用を目的に「雲仙ミヤマキリシマ保全活用連絡協議会」の発足式及び発足記念イベントを開催いたしました。

今後は、国立公園「雲仙」指定100周年に向けて、衰退している雲仙地域のミヤマキリシマの群落及び周辺環境の環境整備と保全に向け、関係機関・団体等と連携してまいります。

【基本方針 3 「社会基盤と環境」の分野について】

主要道路の整備につきましては、長崎県との合同要望を 5 月 9 日、島原振興局建設部長、小畑議長、愛野・小浜バイパス整備促進特別委員会の大久保委員長をはじめ議員の皆様とともに、長崎河川国道事務所長、国土交通省九州地方整備局道路部道路調査官へ、5 月 20 日には、長崎県知事、県議会議員、小畑議長、大久保委員長、元村副委員長とともに地元選出国會議員、国土交通省、財務省に対して行いました。今後も関係の皆様と連携を図りながら、国道 57 号富津防災事業を推進してまいりますとともに、愛野町から小浜町間の幹線道路整備の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

【基本方針 4 「人財と郷土」の分野について】

スポーツ団体・指導者の育成につきましては、4 月 13 日から 5 月 3 日にかけて、「第 18 回雲仙市ジュニアスポーツ大会」が開催され、9 競技 25 種目に、県内外から 164 チーム、総勢約 2,100 名が参加し、熱戦を繰り広げました。

本大会の開催に、ご尽力いただいた関係者の皆様に対し心から感謝申し上げます。

【基本方針5 「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、4月7日に「小浜温泉湯祭り」、4月20日、21日に、「全国煮干しサミット i n 雲仙大会」が開催されました。

各会場とも多くの人で賑わっており、主催者の皆様のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

市民参画と行政運営につきましては、4月1日、株式会社シーエーシー様とこれまでの「雲仙市観光振興等に関する協定」を内包した、包括連携協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、デジタル技術を活用した生活の利便性向上等の分野において幅広い支援をいただくことで、地域の活性化及び市民サービスの向上に繋がるものと期待しております。

また、4月26日、一般社団法人長崎県eスポーツ連合様と包括連携協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、「eスポーツ」を活用した若者定着、人口流出抑制等の分野において幅広い支援をいただくことで、地域の活性化及び市民サービスの向上に繋がるものと期待しております。